

令和3年度五葉山ニホンザル生息状況調査業務委託 -概要版-

目的1

大船渡市、釜石市及び住田町から、当該市町村が実施したニホンザルに係るGPS調査結果等を取集し図表等に取りまとめ、現在の当個体群数を把握するとともに、各関係機関から目撃情報等についてヒアリングを行い、五葉山周辺のニホンザルの生息状況を広域的に分析し、地域個体群数及び個体数を把握する。

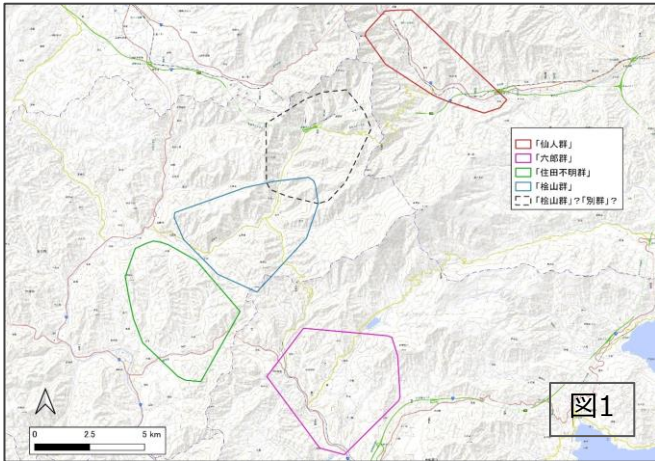
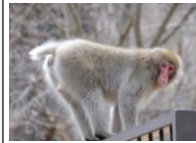
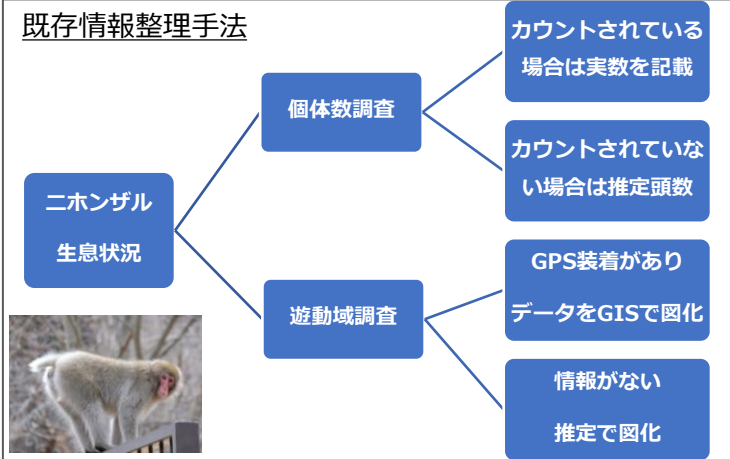


図1

既存情報整理手法



生息市町	群れ名	頭数	カウント精度	カウント年
釜石市	「仙人群」	35	フルカウント	2021年3月
大船渡市	「六郎群」	31	フルカウント	2022年1月
住田町	「桧山群」	29	部分カウント	2021年2月
	「住田不明群」	20	推定頭数	2021年推定
大槌町	-	-	-	-

結果

既存情報の整理より4群115頭の生息が明らかになった。

目的2

五葉山の山中に録音機を設置し、ニホンザルの鳴き声を収集・分析することにより、既存情報収集で確認した地域個体群以外の地域個体群数を把握する（ボイストラップ調査）。

方法と結果

Enari et al (2019)を参考にしてサルのボイストラップ調査を行い、5種類の鳴声を判別して群れの有無を判断する。五葉山周辺のサルの空白地帯である大船渡市の山中に4台の録音機を設置した。その結果、2台でサルの音声を録音することに成功し、既存情報では把握できなかった大沢群の発見に至った。

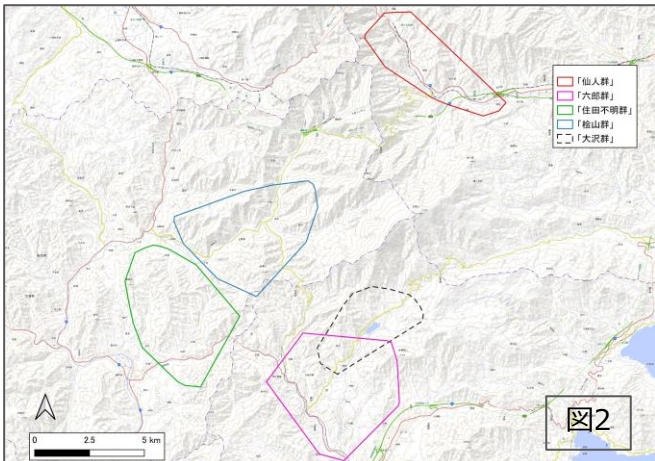


図2



まとめ

本業務の2つの調査で五葉山地域には少なくとも5群（仙人群、六郎群、桧山群、大沢群、住田不明群）が生息していることが明らかになった（図2）。

一方で群れの存在が確定していない地域も明らかになった。すなわち、住田町の気仙川上流域に位置する図1の点線の群れである。この群れが存在するのか否かは今後の調査が必要だろう。さらに遊動域でいえば「大沢群」がどの範囲までを利用しているのかを調べる必要があるだろう。また五葉山の登山ルート沿いで群れを目撃するという情報もあるので、この地域へのボイストラップ調査等を行い、新たな群れがいるのかも明らかにする必要がある。

現時点で把握されている頭数は合計115+α頭となり過去の大井調査の80頭前後と比較すると35頭の増加だった。ただし、今後のカウント調査によっては115頭を超過する可能性が高い。またこの合計頭数には「大沢群」は含まれていない。まずは確定している群れのフルカウントを目指しながら、五葉山個体群の実数を明らかにすることが肝要である。